

## 1 調査の目的

温州みかんの収穫果実の病虫害被害状況を調査し、当年の病虫害発生状況を的確に把握することで、防除暦作成や防除指導の参考にする。

## 2 調査方法

### (1) 対象産地

諫早市多良見、西海市西彼、大村市、雲仙市瑞穂、佐世保市

### (2) 対象農家

各産地の防除暦に準じた防除を行っている生産者1地区3名を選定した。

### (3) 調査対象品種

各産地の主要な品種（原口早生、宮川早生、させぼ温州等）

### (4) 調査時期

令和2年11月11～20日（うち4日間）

### (5) 調査項目

そうか病、かいよう病、黒点病（前期型、後期型）、灰色かび病、すす病、ヤノネカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ、アカマルカイガラムシ、訪花性害虫、チャノキイロアザミウマ（果梗部、果頂部）、ハナアザミウマ類、サビダニ、ミカンハダニ、カメムシ類、風ずれ、その他

### (6) 調査方法

1生産者あたり200個の果実を任意に抽出して病虫害の被害状況を肉眼により観察した。ただし、調査対象は家庭選果前の果実とした。調査は被害程度別に行い、調査項目ごとに被害果率、被害度を算出した。

## 3 調査結果及び考察

### (1) かいよう病

平年より発生が多かった。越冬病斑の発生が平年より多く、伝染源となる発病葉からの感染が台風により助長されたためと考えられた。

### (2) そうか病

被害果の発生を認めなかった。要因として主な感染時期である4月上旬の降水量が概ね平年より少なかったことと、各産地で発芽期以降の防除が徹底されていたためと考えられた。

### (3) 黒点病

前期型病斑は平年に比べ少なかったが、後期型病斑は平年に比べ多い発生であった。前期型病斑が少なかった要因として、梅雨入り前までの降水量は平年に比べ並か少なく、また梅雨入り（6月11日頃）は遅かったためと考えられた。一方、後期型病斑の発生が平年に比べて多かった要因として、梅雨入り以降の降水量は平年より多く、梅雨明けも平年より遅かった（7月30日頃）こと、9月上旬の台風9号、10号による強風雨により感染が助長されたと考えられた。梅雨期には前線の影響で曇りや雨の日が多く、降雨状況に応じて実施すべき薬剤散布が十分に出来なかった園地が多かったものと考えられた。

(4) 灰色かび病

平年に比べ多い発生であった。感染期にあたる5月中旬の降水量が平年より多かったためと考えられた。

(5) すず病

平年に比べ少ない発生であった。

(6) チャノキイロアザミウマ

果梗部の被害は平年に比べやや多く、果頂部の被害は平年並の発生であった。果梗部の被害果がやや多かった要因として2月～5月の気温が高く、4～5月の降水量が平年より少なく経過したことが本虫の発生を助長したものと考えられた。

(7) ミカンハダニ

平年に比べ少なかった。要因として梅雨期の降水量が平年より多く、期間も長かったこと、9月上旬の台風9号、10号による強風雨により増殖が抑制されたと考えられた。

(8) カイガラムシ類 (アカマルカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ、ヤノネカイガラムシ)

アカマルカイガラムシは平年と比べ少なかった。ナシマルカイガラムシおよびヤノネカイガラムシは認めなかった。

(9) ハナアザミウマ類

平年に比べ少ない発生であった。

(10) 訪花性害虫

平年に比べ多い発生であった。要因として暖冬で越冬虫数が多かったと考えられた。

(11) サビダニ

被害果の発生を認めなかった。

(12) カメムシ類

被害果の発生を認めなかった。

表 令和2年度温州みかん果実の病虫害発生状況調査結果

地区名	調査項目	かいよう病	そうか病	黒点病		灰色かび病	すず病	チャノキイロアザミウマ		ハナアザミウマ類	ミカンハダニ	アカマルカイガラムシ	ナシマルカイガラムシ	ヤノネカイガラムシ	訪花性害虫	サビダニ	カメムシ類	風ずれ	薬害	その他
				前期	後期			果梗	果頂											
諫早市 (多良見)	被害果率(%)	0	0	10.8	35.5	19.8	0.2	4.8	4.5	0.5	0	0.2	0	0	0.8	0	0	38.8	0	0
	被害度	0	0	1.8	6.1	3.3	0.02	0.8	0.7	0.1	0	0.02	0	0	0	0	0	7.7	0	0
西海市 (西彼)	被害果率(%)	0	0	1.3	41.0	46.7	0	4.8	3.0	0	0	0.5	0	0	3.8	0	0	18.2	0	0
	被害度	0	0	0.2	6.5	7.5	0	0.7	0.4	0	0	0.1	0	0	0.6	0	0	2.7	0	0
大村市	被害果率(%)	3.2	0	11.3	91.0	24.2	0	13.7	3.8	0	0	0	0	5.5	0	0	18.2	0	0	
	被害度	0.8	0	2.7	21.1	4.7	0	2.1	0.5	0	0	0	0	0.8	0	0	2.8	0	0	
雲仙市 (瑞穂)	被害果率(%)	4.2	0	9.2	36.0	20.3	0	2.7	1.7	0	0	0.7	0	2.2	0	0	35.2	0	0	
	被害度	0.8	0	2.1	7.6	3.4	0	0.4	0.2	0	0	0.1	0	0	0	0	6.1	0	0	
佐世保市	被害果率(%)	0	0	4.5	15.0	24.8	0	20.3	5.3	0	0	0.7	0	0.5	0	0	33.5	0	0	
	被害度	0	0	0.6	2.2	3.7	0	3.0	0.8	0	0	0.1	0	0	0	0	4.8	0	0	
県平均	被害果率(%)	1.5	0	7.4	43.7	27.2	0.03	9.3	3.7	0.1	0.1	0.4	0	2.6	0	0	28.8	0	0	
	被害度	0.3	0	1.5	8.7	4.5	0.005	1.4	0.5	0.01	0.0	0.1	0	0.4	0	0	4.8	0	0	
平年値 (H22～R1 平均)	被害果率(%)	0.1	0.1	13.1	27.8	7.1	0.4	4.6	3.3	0.6	1.5	2.2	0.04	0.1	0.6	0.1	0.03	45.1	0.01	0.7
	被害度	0.02	0.04	3.4	6.9	1.4	0.1	1.0	0.6	0.1	0.4	0.6	0.01	0.05	0.1	0.03	0.01	9.8	0.002	0.1

A: 被害が著しく目立つもの B: 被害が目立つもの C: 被害がやや多く見られるもの D: 被害が散見されるもの

$$*被害度 = \frac{7A + 5B + 3C + D}{7 \times \text{調査葉(果)数}} \times 100$$